

# 庄内町立幼稚園の今後のあり方検討委員会

## 第2回 会議録

令和7年12月18日

庄内町教育委員会

## 庄内町立幼稚園の今後のあり方検討委員会 第2回 会議録（概要）

- 1 会議日程 令和7年12月18日（木）  
開 会 午後6時28分  
閉 会 午後8時15分
- 2 会議場所 庄内町役場 B棟 会議室1.2
- 3 出席者（敬称略）  
【会長】 佐藤 真哉（庄内町教育長）  
【委員】 検討委員 13名出席（13名中）

区分		氏名	役職等
1号委員	保護者	幼稚園	大滝 祐佳里
		幼稚園	五十嵐 健太
		幼稚園	金子 まどか
		幼稚園	真柄 茉実
		保育園	今野 翔
		保育園	鈴木 俊洋
2号委員	小学校長代表	本堂 尚樹	余目第一小学校長
3号委員	幼稚園長代表	加藤 園子	余目第四幼稚園 園長
	幼稚園教諭代表	小林 美智子	余目第二幼稚園 教務主任
4号委員	子ども子育て支援事業 従事者	海藤 誠	社会福祉法人和心 理事兼法人本部事務 長
5号委員	識見	本田 淳	幼保連携型認定こども園 城南幼保園長
6号委員	公募	佐藤 未央	
		齋藤 明美	

【事務局】8名全員出席

【オブザーバー】齊藤教育委員及び子育て応援課職員3名出席

1.開会（進行）	（午後6時28分）
2.会長挨拶 (佐藤教育長)	アンケートへのご協力ありがとうございました。個人のお考えやそれぞれの施設の良さがわかりました。今回はグループトークで進めたいと思います。話し合いの柱としては2つあります。将来の庄内町の0～5歳の教育体制を子供中心に考え、どうしていくべきか、全体的にとらえて考えていただきたいと思います。保護者のニーズや負担も考慮したうえで、安心・安全に預けられる視点、その先には庄内町に他市町村から移住したいと思える魅力的なまちづくりにもつながればいいと考えています。2つめ、新たな体制に移行する時期はいつが良いかです。皆さんの立場で長期的展望に基づいたご意見を頂戴したいと思います。
3.報告	（座長は会長へ）
会長（教育長）	それでは、はじめに（1）第1回検討委員会会議録承認について 事務局より説明をお願いします。
池田教育総務係長	（会議録は、町ホームページに掲載される旨説明）
会長（教育長）	何かお気づきの点があればお願いします。よろしいですか。つぎに（2）第1回・第2回意見聴取結果について 事務局より説明をお願いします。
池田教育総務係長	（資料に基づいて説明）

会長（教育長）	質問等ありますか。
委員	あくまで「幼稚園のあり方」について結論を出すということでよろしいでしょうか。
清野教育課長	幼稚園の令和9年度からの統合にはご賛同いただけなかったと捉えています。小学校開校までは4園体制を維持する、というところで考えています。新しい体制をどうするかについては検討が必要です。幼小連携という意味では立地を生かすことができないので、新しい体制まではどこかを休園するなど、方向性を示していきたい。
委員	以前から申し上げているように、庄内町の教育をどうするという議論があつたうえで、今の幼稚園をどうするか話さないと、どんどん先送りになると思います。庄内町で足りていない保育と教育のサービスをどうやって提供していくのか。新制度になってから庄内町は解決しようとしている。幼稚園のあり方の前に、子育て応援課と教育課で相談して、認定こども園化した場合、それまでの道筋をどうするか、というのが順番ではないですか。
清野教育課長	今回、このようにグループトークさせていただく一番の目的としては、0～5歳の幼児教育・保育のあり方を議論いただきたいと思います。幼稚園にこだわった考え方ではなく、全ての施設を含めて、どういった形がいいか。そのうえで、今ある幼稚園がいつまで存続していくか。教育委員会として決めることができるのとそこまでですでの、その先は町長部局とともに町として幼児教育・保育を話し合っていくことになります。
委員	例えば、将来的には認定こども園が良いなどということが、検討する目的ということですか。
清野教育課長	本検討委員会は、意見を伺う会になります。来年2月に、町の総合教育会議がありますので、その中で、今回出た様々な意見で、例えば、これからは認定こども園が望ましいという意見が多ければ、それについて話し合うことになると思っています。
4. 協議	
会長（教育長）	ほかにありますか。無ければ、4 協議に移ります。本日はグループトークを予定しておりますが、最初に 幼稚園・認定こども園・保育所（保育園）の違いについて 事務局より説明させていただきます。
池田教育総務係長	（資料に基づいて説明）
会長（教育長）	質問等ありますか。
委員	スライドの園別概要比較ですが、グループトークをする前に、一つ追加した方が良い項目があります。教職員の資格についてですが、幼稚園は幼稚園教諭2種または1種。保育所は保育士免許。認定こども園は二つの資格が必要ですが、いまは絶対的に数が足りないので、いずれかの資格があれば働くという暫定措置になっています。
会長（教育長）	ほかにありますか。無ければ、(2) グループトークに移ります。
	(3 グループに分かれてグループトーク) ※各グループの記録は、以下のとおり。
会長（教育長）	(3) 質疑応答へ移ります。本日の説明をお聞きして、感じたこと、ご質問等ある方は、挙手にてお願いします。よろしいですか。無ければ、進行を事務局へお返します。
5. その他	・第3回意見聴取について ・第3回検討委員会日程について
閉会	(午後8時15分)

## グループトーク記録

### テーマ

#### (1)町の0歳から5歳の幼児教育の体制について

パターン①：0～2歳（認定こども園）3歳（認定こども園）4～5歳（認定こども園）

パターン②：0～2歳（保育園）3歳（幼稚園）4～5歳（幼稚園）

パターン③：0～2歳（保育園）3歳（保育園）4～5歳（幼稚園）

パターン④：0～2歳（保育園）3歳（認定こども園）4～5歳（認定こども園）

#### (2)新たな体制に移行する時期について

### A グループ

A 委員	1号認定になつたら長期休暇しないといけないのですか。
B 委員	長期休暇はあります。2号認定でも長期休暇を取ることもあります。園の方針で、いかようにもできます。
B 委員	庄内町でも認定こども園はできると思います。
C 委員	4園で当面行く、というのは公立小学校の立場としては少々厳しいかと思います。
D 委員	園児の人数的に考えると、余目四幼などは少ない。それを今統合させても、（現在の施設に）入れる人数かどうか。令和9年の間に何人かというと4園で150人程度、今の施設には入れない。改築、修繕を考えないといけない。将来的に小学校開校に合わせて、令和14年度まで段階的に統合した場合、園児数はどうなるのか。
B 委員	以前、町内の小学校校長をしていました。隣に幼稚園がありました。子どもを朝出迎えるときに、幼稚園長と話をしたりして、子どもの様子などを聞くことが出来ました。隣に幼稚園・小学校があることはとてもいい。鶴岡のナンバースクールだと1つの学校に20くらいの園から上がってくる。慣れるのに半年くらいかかる。5歳～小学1年の架け橋プログラムを作るわけだが、余目地域は作らなくてもスムーズにいく。これは他の町にはないです。例えば、新しい幼稚園・認定こども園を作ったとしても、令和14年には、新小学校と離れてしまいます。幼稚園と小学校は一体的に。小学校が令和14年度開校と決定したのもどうかと思いますが、隣に小学校があってスムーズに入れるのはメリットだと思います。年長と小学校1年生という2年間をくくって考えて。認定こども園については様々な考えがあるので、ほかの委員の意見を聞いてもらえば。
E 委員	先生の資格の話、幼稚園教諭と保育士免許があるとのことでした。1号、2号認定の話もありましたが、2号認定しかいない認定こども園だったら、保育士免許だけで成り立つのですか。管轄が厚労省ということは、教育が入ってこないのですか。先生がいなくなると、保育だけで教育がなくなるのですか。
A 委員	認定こども園になつたら、幼稚園免許と保育士免許のどっちが必要と聞いたら、一幼に居る先生方は、ほとんど両方持っているとのことでした。
B 委員	分かりやすくいうと、山形県の場合は羽陽学園短期大学と東北文教大学、どちらも2年の短大、保育士は国家試験なので試験に合格しないといけません。幼稚園は大学を卒業すれば取れる。昔は専門学校にいて、もしくは臨時職員として幼稚園に勤めていれば受験可能でした。
D 委員	今の先生方は、両方免許を持っている人が多いのでは。
E 委員	同じ4歳の子どもでも、1号認定と2号認定で、先ほどの説明だと教育時間が異なるようだったが、同じように過ごして、同じ先生が見ているのですか。
B 委員	うちの認定子ども園の話ですが、3歳以上が幼児部になります。時間帯からすると、9-14時は同じ内容で、どちらかというと教育重視の内容。一旦さようなら。2号認定の子は、そのまま預かり保育になります。1号認定の子は、半分が園バスで帰り、半分は預かり保育で残ります。この子たちは料金が発生します。2号認定の場合は、預かり保育の料金は無償です。鶴岡市は、完全に幼稚園がなくなりました。経営が成り立っていないので。幼稚園型と幼保連携型の認定こども園があります。保育園型の認定こども園はありません。

C 委員	保育園・こども園・幼稚園で話し合えば良いと思います。
B 委員	保育園から幼稚園に変わると、グッズを整えなければと保護者アンケートにありました。0~5歳までの認定こども園ならその必要がありません。そのまま、小学校に進学していくと思うと、先日の話も聞いて、パターン①が良いと考えます。
E 委員	個人的な話かもしれないが、B 委員から見て認定こども園を庄内町に作るとしたら、民間企業にやってもらうか、公立で保育部分を復活させるか。0~3歳児が民間企業と競合することになるが。それか、民間企業に幼稚園を譲度する。どう思いますか。
B 委員	難しい選択。この場では決められないと思います。結論として、どこが担うかを考えなしに、子どもにとては0~5歳、環境的なショックもない、1園でずっと育っていく。どこに建てるかもありますが、そこまで保護者が連れてくる、通園バスはどこまで可能か、そこまで考えてやるのが行政の役割です。環境をいかに整えるか。
D 委員	送迎は基本保護者だと思います。保育園に何年か勤務していた立場でいうと、小さい子どもほど通園バスにも乗れないで、園バスは3~5歳くらいから。安全配慮しながらの行政サービスは必要。余目地区はどうするかという話です。第一から第四幼稚園まで集約すると、町としていろんなことを話してきただろうが、これから先どうなるのかなと思う。町の職員で幼稚園に勤務した関係上、先生方はどうするのか。一般事務へ配置換えになるのか。専門職で發揮してきた力をどこで活かすのか。そこまで考えていかないといけないと思います。公立の認定こども園を否定するわけではない。同じ教職員の人たちが一つの施設にいたら、0~5歳を一気に見ることができる。認定こども園からふるは、保育舎と幼児舎で分かれている。そうではなくて、0~5歳を1つの施設で見られれば良い。3歳児に負荷がかかりすぎ、とか、4歳につなげていく、とか。いっぽう小学校を令和14年度に開校するなら、幼稚園も隣接する形でと望む。現職時代に小学校の教務の先生とかと話せたことで、スムーズに学校進学へ移行できたと考えている。
C 委員	0~5歳を1つにするというのに賛成です。
D 委員	わたしは公立にこだわりたい。先輩の先生を見て学ぶ。同じ施設の先生は、いい意味でライバル。研修に自費でも行く、そうしないとスキルアップしない。それが公立の良さ。幼稚園にはこだわらない、保護者ニーズなど考えれば、幼稚園・保育園の対立ではなく、棲み分けです。公立の先生でないとできないことがある。
E 委員	公立ならパターン①が良いと思います。第1回検討委員会の話を聞いて、熱い「幼稚園教諭です」という思いを感じた。公務員として採用されている、民間だからやる気がないとかではありませんが、4月から民間と言われた時のぐらつきがあるかなと思います。公立で教育部分は変えずに、保育部分を上手く出来たら良いと思います。
A 委員	幼稚園の統合云々の前に、今の園舎を利用して統合したところで、いつまで使えるのですか。今回の説明で、例えば、新しい土地を買って新しく建てる10年かかると話があった。10年後、令和14年の小学校開校まで4園で行くとして、古い建物のまま、子どもたちは冷たい水で手を洗って、それをいつまで続けるのか、町としての考えが見えない。
C 委員	解決策はないのですか。
事務局	来年度から、新小学校の基本設計に入ります。同じ土地の中に建てるのは厳しいと思います。近くの土地に建てるとしたら、先程の説明のとおり、8年間待たないといけない。
D 委員	「出来ない」を前面に出すのではなくて、どんな園舎であれば子どもにとっていい環境か考えるべきです。
E 委員	町としては、今ある園舎で統合を考えていますか。新小学校と隣接するのは難しいと。
事務局	今の幼稚園を、というのは未定です。新小学校との隣接は難しい。
E 委員	先日子育て応援課のアンケートがあったと思います。学童を小学校と一緒にするか別にするかの段階なら、幼稚園も一緒にできるのではないか。
事務局	学童保育所は、新小学校の施設内に入れることで検討中です。

D 委員	では、幼稚園は出来ないのでですか。
B 委員	小学校と学童の敷地がある。R14 年度の春に 0~5 歳何人分が必要か。年齢に合わせた基準面積があります。新小学校と学童の敷地の中に、認定こども園を入れるキャパを、入れられないか。
事務局	幼稚園の今後のあり方の基本方針を決めるのを待っていると、基本設計に入れ込むことが難しい。新小学校の完成が遅れてしまします。
B 委員	最後パブリックコメントを予定とのことですが、それまでの期間を縮めることはできるだろう。敷地内にあれば、学校終わったら学童に行く子たち、保護者は 0~5 歳の子も一緒に同じ場所に迎えに行ける。
A 委員	それが保護者にとっては一番良いと思います。
C 委員	新小学校開校を令和 14 年度にこだわるのか、遅れていいいから幼稚園・こども園も含めて考えるのかが問題です。
B 委員	幼・小の一体整備が可能なら、これに反対する人はいないと考えます。
D 委員	余目保育園が民営化したときの最後の園長でした。子どものことをどう考えて民営化に舵を切ったのか。0 歳から教育が始まるのはわかるが、0 歳はまだ保育が重要と思う。現場はもちろん、教育委員会も一緒に先生を育てていってほしいです。
E 委員	令和 14 年度に合わせ、子どもの数に合わせて、園を整備できれば良い。
B 委員	民間と公立の違いといえば、他市町村に住む子どもの保護者が、余目の園に通わせたいとなつたら、民間なら調整不要ですが、公立では、町民が優先になると思います。
D 委員	清川保育園に 1 年勤務しました。その時の園児は、7 人位だったと思います。それでも出来ていたのだから、乗り切るような力を、納得できる説明をお願いしたいです。施設の修繕は、令和 14 年度までまだあるので、ぜひお願ひしたい。冷たい水で手を洗うとか、子供が困っているのに。
E 委員	お湯はすぐ出来そうですね。
A 委員	お湯は出してほしいです。先日子どもが、水が冷たすぎて泣きながら帰ってきました。
C 委員	少なくとも 7 年、遅くて十何年。老朽化を理由に幼稚園統合というのも理由の一つだったと思いますが、そうだとしたらこれはおかしいと思います。私の立場からしたら、園・小学校・学童、全部一体となった学園都市になれば最高だと思います。中学校も近い。施設間の打合せも容易ですし、保護者の利便性も高いと思います。
B 委員	今、他施設の先生方との打合せが困っています。子どものためを考えたときに、各施設の長がすぐに集まれるのは強みだと思います。
事務局	A グループの結論としては、場所は新小学校に隣接を希望する。そのためには、新小学校の建設が多少遅れてもということでまとめます。

### B グループ

#### テーマ (1) について

F 委員	事前の意見聴取でもパターン①の 0~5 歳児まで認定こども園がいいと記載しました。理由は記載しています。町立幼稚園の先生方からのアンケートでも認定こども園が多かったです。アンケート結果の中の、「将来的にはこども園だと思うが、大変そう」という意見については、どういうところが大変だと思っているのか疑問に思いました。
G 委員	旧保育園と幼稚園を経験しているが、若い教諭は、保育園での勤務を経験していない。どういった形で子供に関わっていけばいいか不安だと思います。0~5 歳は、パターン①の認定こども園が、良いと思います。子どもも保護者も、それが良いのではないでしょうか。子どもたちも色々な子がいます。支援が必要も子がいます。その子にとって一番良いことを 0~5 歳まで続けていければいい。ようやく信頼関係が培った保護者が、わかれてしまうより、同じ園舎にいれば、いいのではないか。保護者が戸惑わない=子どもも戸惑わないと思います。

	学童の隣に施設を建設できれば良いのではないかと思う。学童も0~5歳も一緒に迎えに来られればいいと思いました。
H委員	ここに来る前までは、パターン②で考えてきた。今日の話を聞いて、パターン①の認定こども園が良いと思いました。送迎や給食、親の希望が全部かなっています。幼稚園での教育を認定こども園が担うのであれば。
I委員	私は、事前意見聴取でパターン③を選びました。今までは、認定こども園のイメージが全くありませんでした。今日の話を聞いて、同じ敷地で出来るのであれば、先生方とも一緒に、お兄さんお姉さんとも一緒にできる。うちは2号認定を受けていない。その場合はどうなるのでしょうか。
F委員	1号認定です。
I委員	保育園の経験も無いので、保育園のイメージもありません。
事務局	認定こども園では、1号認定の子どもは早く降園するのですか。
F委員	そうです。1号認定も2号認定も一緒に保育しています。

#### テーマ(2)について

F委員	正直、令和9年度については、実際問題むずかしい部分が大きいと思います。小学校に隣接する部分というのは、幼小連携を重視していると思います。小学校と園が、隣同士であれば利便性がいい。幼小連携は必須となっている。場所が違っても、行わなければいけないことなので、離れていてもバスなどがあるので心配ないのではないか。自分からは、いつかいいとは言えません。
事務局	新小学校と新しい園が、同じ場所になると、交通渋滞の懸念はあると考えています。
G委員	バスを現在は使用していないので、幼小連携については心配です。じっくり考えたいけれど、スピードに考えないといけないのでは。理想は、幼小の往来については、やりやすくしたいです。同じ場所に建設してほしい。最上町の認定こども園ですと、階段上ったところに小学校があります。そういう形が望ましいが、難しいとは思います。
F委員	せっかく隣に建設するのであれば、屋根があつて棟続きが良いですね。
H委員	新しい幼稚園やこども園が、新小学校の敷地内に建設出来ない理由は何ですか。
事務局	大きくは、土地の問題です。農地から宅地にすることは、手続きが困難です。優良農地は、国として守る必要があり、農地から宅地にするときに、開発行為の申請も必要となります。今まだ決まっていないことを、その設計等に組み込むことがむずかしい。
H委員	新小学校敷地へ隣接は難しいが、近くに建設することも難しいのですか。
事務局	農地を守ることと、空いている土地を比較して、どうするかを国から言われることが想像される。他に土地があるのに農地をつぶす理由を明確にしなければいけないので、正直難しいのではないかと思います。
H委員	早い方がいいと思うが、小学校より早いことは考えられないです。幼小連携は近くに無いとダメということではないのですか。
F委員	必ずしも近くにある必要はないと思いますが、庄内町がこれまで隣接していたということです。
I委員	新小学校開校と同じタイミングが良いと思います。小学校の近くにあるのが理想的だとは思う。子どもが支援学級に通っています。幼稚園から小学校に行くときに入りやすかったです。小学校のプールを利用して幼稚園が使っていました。グラウンドでも、運動会の練習をしていたので近くにあって欲しいと思っています。

#### Cグループ

#### テーマ(1)について

J委員	パターン①が良いと思います。庄内町の課題である幼稚園にしか入れない現状。0~5歳まで一緒に入れることが大切です。つながって育っていくことが必要。0~2歳は保育園、3~5歳は幼稚園と分けることはよくない。
-----	---

K 委員	パターン②です。理想は、パターン①ですか町の財政を考慮すると厳しいと思います。3歳児は4~5歳児に面倒をみてもらい、3歳児は上の姿を見てあこがれ育っていく。可愛がられる経験をした子は、同じように下の子を可愛がるようになります。
N 委員	パターン①が良いと思います。保育園から幼稚園に入園しないといけない現状に課題があります。「切れ目ない教育」をするべきであると思う。庄内町の保護者で認定こども園のことをしっかり理解している人は少ないと感じる。前回の保護者アンケート結果は、余り参考にならないのではないかでしょうか。0~5歳までを一貫して見られる環境が必要だと感じる。
M 委員	最初は、パターン③でしたが①という考えに変わりました。自分の子どもが今、保育園に通っていますが、卒園すれば幼稚園へ入園することになります。しかし、幼稚園に入る際に、保育園で仲良くなつた子と離れることになり、それを知り悲しんでいる様子が見られました。
N 委員	認定こども園でも、小学校と連携できると思うのですが。
J 委員	認定こども園だから、連携の質が悪くなるということはないと考えます。保育園留学も行っており、短い期間、田舎暮らしをしたいという事業をしています。子どもが減っていく中、都会から、または、英語しか話せない子が来ることもある。自然の中で、都会では経験できないことをたくさん体験しています。このように、民間の園だからこそ出来ることもあると思います。来年の1月には、フィリピンの方が来て、ネイティブな英語に親しむことができる予定です。
K 委員	幼稚園では「どういうねらいをもたせるか」ということを大切にしています。今、子どもたちの主体性が重視されています。子どもたちの思いを大切にしながら、小学校と連携しています。できるだけスムーズに小学校に入学できるようにする。民間と公立とで高め合っていく関係でありたいと考えます。
N 委員	民間と公立に質の差があるとは思いません。
J 委員	財政について心配という声もありましたが、民設や公設、民営や公営などいろいろなという考え方もあります。幼稚園ありきというのは、今の時代には合っていないと思います。
N 委員	もう少し早く議論する内容だったと感じます。
J 委員	庄内町で待機児童が出そうなとき、民間保育園（すくすく保育園）が出来ました。民間だと国からの補助金が出ます。公立では、補助は出ません。町の財政を考えるのであれば、民間でやつた方が良い。町の事情もわかるが、どちらを向いて考えていくのですか。
テーマ (2) について	
J 委員	できるだけ早くが望ましいと思う。財源を考えると、どうすればよいか考えなければいけない。
K 委員	先程の説明で、10年以上かかるという話もあったので、10年はかかるかと思う。小学校が統合する前に、幼稚園が統合されるのも変ではないかと思います。
N 委員	根本が決まっていないと時期を考えるのは、難しいと思います。保護者のニーズにあわせながら、早く環境を整える必要があります。
M 委員	令和9年度は早いと感じました。小学校が統合されるタイミングが、望ましいと思う。何年かけて考えていく必要があります。
オブザーバー	小学校の統合の話と幼稚園の統合の話を一緒に行うと、小学校の統合がさらに遅れてしまう可能性があったため、小学校を優先して進めてきた経緯があります。今後は、町全体で連携して、良い形になっていくようにしていく必要があると思います。